本日、議員の皆様にご参集いただき、平成 29 年度県議会定例会を開会し、提出いたしました諸案件のご審議を願うにあたりまして、その概要をご説明申し上げます。

まず、説明に先立ちまして、「琵琶湖保全再生計画」の策定について申し上げます。

平成 27 年 9 月 28 日に公布・施行されました「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」に基づき、国において定められました「琵琶湖の保全及び再生に関する基本方針」を受け、本県では「琵琶湖保全再生計画」の策定作業を進めてまいりました。

この間、議会でのご議論をはじめ、環境審議会での検討や県内市町、関係府縣市との意見交換、更には、県民政策コメント等を通じて、多くの方々に策定にご参画いただきました。

こうして皆様と協働で作り上げた計画案について、関係する全ての事務大臣の同意を得て、平成 29 年 3 月 30 日に計画を策定したところです。

これも、議員の皆様をはじめとした県民の皆様のご理解、ご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

本計画は、「琵琶湖と人との共生」を基調とし、琵琶湖の重要性や保全再生に対する幅広い「共感」、活力ある暮らしとの「共存」、琵琶湖の価値の「共有」の 3 つの視点に立ち、琵琶湖保全再生施策を進めるものです。

これらの実現に向け、3 つの重点事項としまして、まず、水源林の整備保全や水草・外来動植物対策をはじめとした「琵琶湖を『守る』取組」、そして、林業の成長産業化や環境関連産業の振興などの「琵琶湖を『活

かす』取組」を進めてまいります。

さらに、琵琶湖の保全再生に関する調査研究や体験型の環境学習など「琵琶湖を『支える』取組」を展開することで、琵琶湖を「守る」と「活かす」ことの好循環を創り出すことを目指しております。

特に『支える』取組に関しましては、今月 1 日に琵琶湖環境科学研究センター内に設置されました国立環境研究所琵琶湖分室とも連携し、琵琶湖の水質や生態系に関する研究を一層進めるとともに、その成果等を水環境ビジネスや漁業の振興などにもつなげてまいります。

そのためにも、多様な主体との連携を一層強化しながら、本計画による取組を着実に推進してまいりたいと存じます。国からの支援・協力は言うまでもなく重要であり、先日、環境大臣にも改めてお礼かたがたお願い申し上げましたが、今後とも、国との連携をしっかりと図りながら進めてまいりたいと思います。

次に、4月16日から23日にかけて、関西広域連合の一員として、オーストラリアにおいて観光プロモーションを行うとともに、ワールドマスターズゲームズ 2017 オークランド大会の開会式等に出席するため、ニュージーランドを訪問してまいりましたので、ご報告申し上げます。

まず、オーストラリアにおける観光プロモーションでは、人口増加や経済発展の著しいクイーンズランド州のパラシェ州政府首相との会談において、滋賀をはじめとする関西地域との観光や交流の促進、そして、持続可能な社会づくりに向けた環境と経済の両立の重要性について意見交換を行い、今後の取組の方向性について認識を共有いたしました。

また、カンタス航空には、関西への直行便の開設に向けた提案をさせていただき、好感触を得ることができました。

現地の旅行会社などを招いた意見交換会や観光レセプションでは、琵琶湖の美しさ、そして、それを体感できるビワイチサイクリングに加え、スノースポーツや忍者、お城などといった滋賀の持つ観光資源の魅力をオーストラリアの方々にアピールすることができました。

今回の訪問を通じまして、オーストラリアの方々が我が国の歴史・文化や自然景観に強く興味を持たれていると感じたところであり、今後も、関西広域連合等と連携しながら、本県へのさらなる誘客に向けて取り組んでまいります。

続いて訪れましたニュージーランドでのワールドマスターズゲームズ 2017 オークランド大会の視察についてでございますが、現地では、大会を主宰する国際マスターズゲームズ協会の会長や地元オークランド市長との会談を行い、開会式にも出席いたしました。

2021年の関西大会において本県で開催いたしますソフトボールや10kmロードレース等の会場地を訪れ、大会運営のあり方をつぶさに視察できたことは非常に貴重な機会でありました。

30歳以上の方なら誰でも参加できる、まさに生涯スポーツの祭典の雰囲気と盛り上がりを感じながら、世界の人々のスポーツの楽しみ方、スポーツと観光の親和性など、改めてスポーツの持つ力を実感することができました。

関西大会では「スポーツ・フォー・ライフの開花（人生を豊かにするスポーツ）」を理念とし、一人ひとりの挑戦と可能性、世代・地域・文化のつながり、関西の魅力と文化の発揮、国際色に溢れた感動の共有、次世代にエネルギーと躍動感をおくるという5つのコンセプトで進めます。

今後、去る 3 月に設置しましたワールドマスタースゲームズ 2021 関西・滋賀実行委員会において、開催市や競技団体、関係団体と連携し、準備を着実に進め、開催効果が最大限発揮できるよう取り組んでまいります。

それでは、提出いたしました案件について、ご説明申し上げます。

まず、予算案件でございますが、

議第 68 号は、一般会計の補正予算でございます。

国の「地方創生拠点整備交付金」を活用した琵琶湖博物館の第 2 期リニューアル事業など、いずれの事業も設計協議に時日を要したことにより、平成 28 年度中に契約の締結をすることができなかったことから、改めて債務負担行為を追加しようとするものです。

次に、条例案件でございますが、

議第 69 号は、ガス事業法の一部改正に伴い、必要な規定の整理を行うため、改正を行おうとするものです。

議第 70 号は、雇用保険法の一部改正に伴い、必要な規定の整備を行うため、改正を行おうとするものです。

議第 71 号は、過疎地域自立促進特別措置法、過疎地域自立促進特別措置法第 31 条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部改正に伴いまして、過疎地域における課税免除の対象となる特別償却設備の内容を見直すとともに、過疎地域および離島振興対策実施地域における課税免除の適用期限を平成 31 年

3月31日まで延長しようとするものです。

議第72号は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正に伴い、必要な規定の整理を行うため、改正を行おうとするものです。

次に、その他案件でございますが、

議第73号は、損害賠償の額を定めることについて、議決を求めようとするものでございます。

議第74号は、専決処分について承認を求めようとするものでございまして、地方税法の一部改正に伴いまして、県税条例について、所要の措置を講じたものでございます。

議第75号は、滋賀県監査委員に生田邦夫さんを選任することについて、同意を求めようとするものでございます。

以上、何とぞよろしくご審議をいただきますよう、お願い申し上げます。

さて、最後になりましたが、本日、議長改選で退任されました野田前議長ならびに奥村前副議長に、一言御礼申し上げます。

本格的な人口減少社会の到来など時代の大きな転換期を迎える中であって、その手腕を遺憾なく発揮され、本県の議会運営に大変なご尽力をいただきましたことに、執行部を代表いたしまして、深く感謝いたします。

また、新しく御就任なさいました奥村議長ならびに小寺副議長におかれましては、御就任、誠におめでとうでございます。特に、奥村議長にお

かれましては、副議長に引き続き重責を担われることになり、ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

地方創生をはじめ、今後の県勢発展に向けて、着実な取組が求められます中、難しく重要な職責でございますが、県民の皆様のご負託に応えるべくご活躍くださいますようお願い申し上げますとともに、県議会における活発かつ真摯な議論に向けて、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。